

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年4月11日(木)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

里山での発見①

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・年長になりできる事や挑戦したい気持ちが育ってきている子ども達。今まで行ったことのない道から行くことでワクワクした気持ちの芽生えや発見、挑戦したくなる気持ちの芽生えを促す。

2. 活動スケジュール

- ・里山の中のいつもと違う道を通り探検しながら、いつも遊んでいる場所まで歩いていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定


- ・救急セット
- ・拡大鏡
- ・虫カゴ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・里山で散歩。
- ・虫かごを持って虫探しに行く子や、虫眼鏡を持って色々な所を覗き込み見つけた物友達と共有していた。
- ・木の梯子に挑戦する姿も見られた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>• いつも遊んでいる場所までの道のりを変えることで、 「え!?!どこいくの」 と笑みをこぼしながらワクワクがあふれ出していた子ども達。 「あ!ねこがいるよ」「あそこにもなにかいるよ」と視野を広げながら気づいたことを言葉にしていました。</p> <p>• 削れた部分を見つけ、 「ここに挑戦してみたい」 と勢いをつけて登ろうとしていたが始めはうまくいかなかった。 「もっと勢いをつければいけるかも」と失敗を繰り返しながら何度も挑戦していた。何回もやっていくうちにコツがつかめ上の根っここの部分まで辿り着くことが出来ていた。『コツは何だったの?』と尋ねると 「勢いと、靴をこうするんだよ（ハの字にする）」と教えてくれた。それを聞き他の子どもも挑戦していた。</p> <p>• 遊んでいる所に到着すると虫眼鏡を片手に「なにかいないかな」と散策する姿や、木の梯子に挑戦している姿が見られた。</p>	  

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

いつも行く道と違う道から行くことで“なにかいるんだろう”とワクワクから子ども達の視野が広がり発見や気づきや増えていくと感じた。子どもの呟きを拾っていくことで他の子ども視野が広がっていく姿があった。また、少し頑張れば出来そうなことに挑戦することで身体の使い方や工夫の仕方に気付く姿が見られた。